

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

## 森林文化交流センター（森愛館）の運営について

京都市森林文化交流センター（愛称：森愛館）は、都市と山村との交流、森林文化に関する体験活動などを行う施設として、平成10年7月に開設し、令和3年度は、814名の方々に御利用いただきました。

### センターの収入と支出

<センターの料金体系>

ホール：平日	午前 2,090 円	午後 2,720 円	夜間 3,560 円
土・日・祝日	午前 2,610 円	午後 3,560 円	夜間 4,500 円
会議室：1時間につき	520 円		

<支出>

利用者1人当たりの運営経費 5,500 円 (A)

総額 450 万円

管理委託料 5,500 円 (人件費・光熱水費等)

<収入>

利用者1人当たりの収入 200 円 (B)

総額 16 万円

総額 434 万円

(A) - (B)

使用料 200 円  
(4%)

差額 5,300 円 (96%)

市民の税金で負担 (公費で負担)

[ いずれも概数 10 円単位で四捨五入 ]

- 公費負担がない場合の単純な試算を行うと、使用料は現行の 28 倍の額 (例えば、ホール平日午前料金 2,090 円 → 58,520 円) が必要となります。
- 施設を利用しない方も含めた市民の負担 (公費負担) により、現行の入場料で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担 (施設使用料等) と公費負担 (市民の皆様にご納めいただく税金) などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組 (維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等) を進めてまいります。